

2023年3月期 第1四半期決算説明会 質疑応答の要約

開催日時： 2022年7月27日 16:00~17:00

開催場所： SBテクノロジー株式会社 本社 (Teams開催)

回答者： 代表取締役社長 CEO 阿多 親市・・・(2)、(4)、(5)、(6)

取締役 常務執行役員 CFO 岡崎 正明・・・(1)、(3)

<質問者1>

(1) 中期経営計画で掲げているFY24 営業利益 80 億円の目標に対し、各マーケットの売上成長・利益率改善の方向性について伺いたい。

公共とエンタープライズの領域は売上・利益ともに伸ばしていく計画である。エンタープライズにおいてはソフトバンク(株)以外のSBグループ企業における当社のシェア増やその他エンタープライズ企業への深耕をしていきたい。また、通信についてはソフトバンク(株)との取引であるベンダーマネジメント案件を含め効率性や採算性の低い案件を戻して構造的な利益率改善を図るため、売上の伸びは大きくないが利益は伸ばしていく想定である。

(2) ソフトバンク(株)に効率性や採算性の低い案件を戻すとのことだが、見通しはついているのか。

既に話は進めている。3年をかけ標準化を進めてきたが、結果として当社の役割が少ない部分についてはお戻しし、リスクはあってもチャレンジできる分野で貢献して、利益も確保していきたい。収益性改善の効果が表れるのは下期以降と考えている。

(3) 今期営業利益目標について前期からの変動要素を教えてください。

今期の業績予想は売上高+5.8%増、営業利益+4.8%増としているが、売上総利益は(株)ノートンライフロックとの契約変更影響を含めて15%前後の増加、販管費は構造改革コストを含めて20%前後の増加で計画している。

<質問者2>

(4) FY24 営業利益目標に向けて前期から 15 億円増益しているが、大きく伸びる要因は何か。

FY22 の営業利益 54 億円から年率 20%の成長を目標として掲げている。(株)ノートンライフロックとの契約変更による減益や、その他すでに見えているリスクは織り込んだ上で、自治体情報セキュリティクラウドで獲得した417自治体という顧客基盤に向けたサービス展開等、リカーリングビジネスが積み上がっていく想定。それらがFY23以降利益貢献した結果、営業利益が伸びていく計画である。

(5) FY24 の営業利益目標 80 億円のうち、子会社であるサイバートラスト(株)はどのくらいか。

サイバートラスト(株)が公表しているとおおり、FY24 の営業利益目標 20 億円を織り込んでいる。

<質問者3>

(6) Q1業績は好調だったが、通期営業利益予想54億円計画は保守的ではないか

前年Q1の不採算案件剥落により利益率が改善した。今期も自治体情報セキュリティクラウドを2県追加受注するなど需要は旺盛であるが、運用やサービス展開などによる利益貢献は来期以降がメインになる見込みであり、今期は構造改革コストや(株)ノートンライフロックとの契約変更影響を織り込んだ計画となっている。

以上